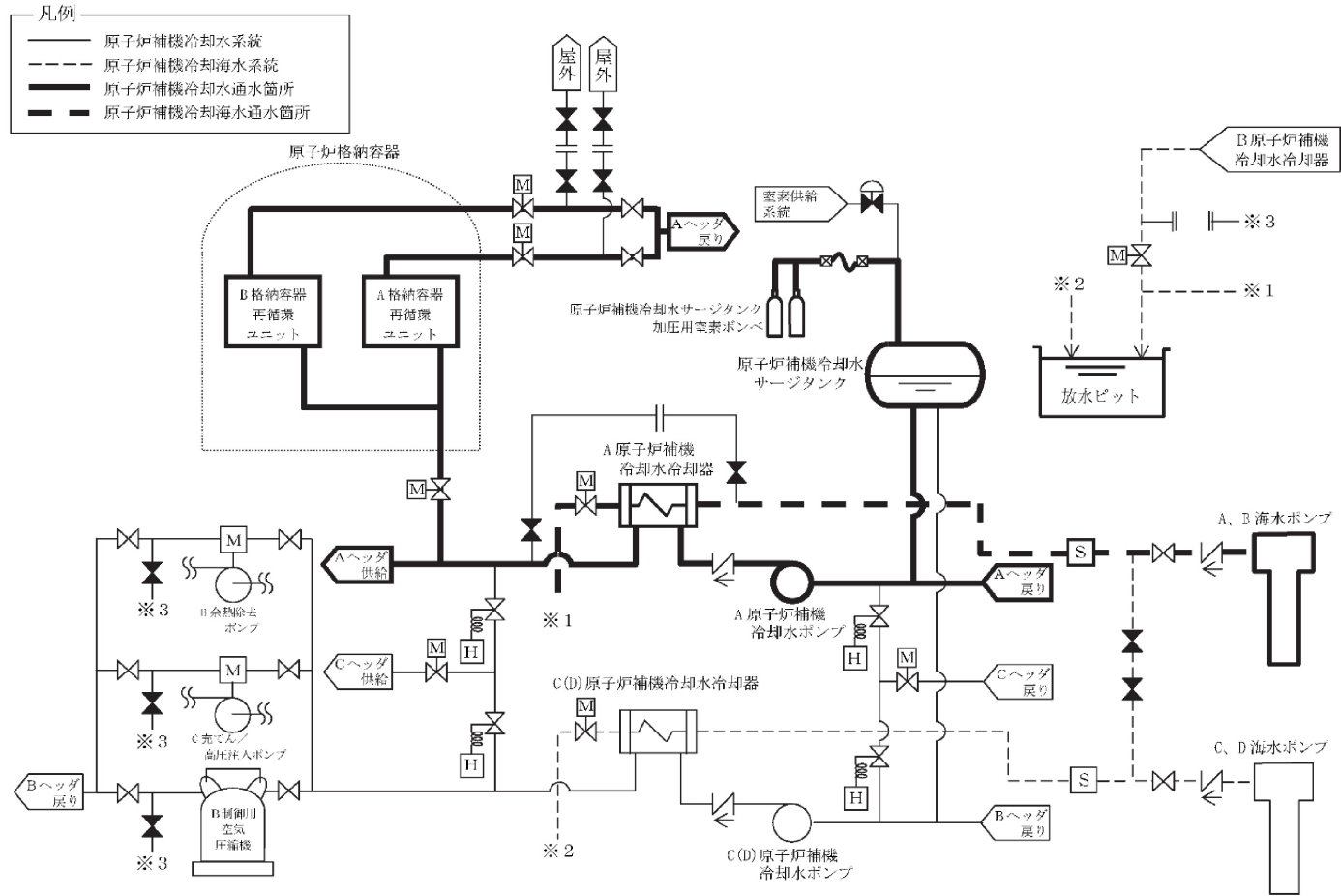
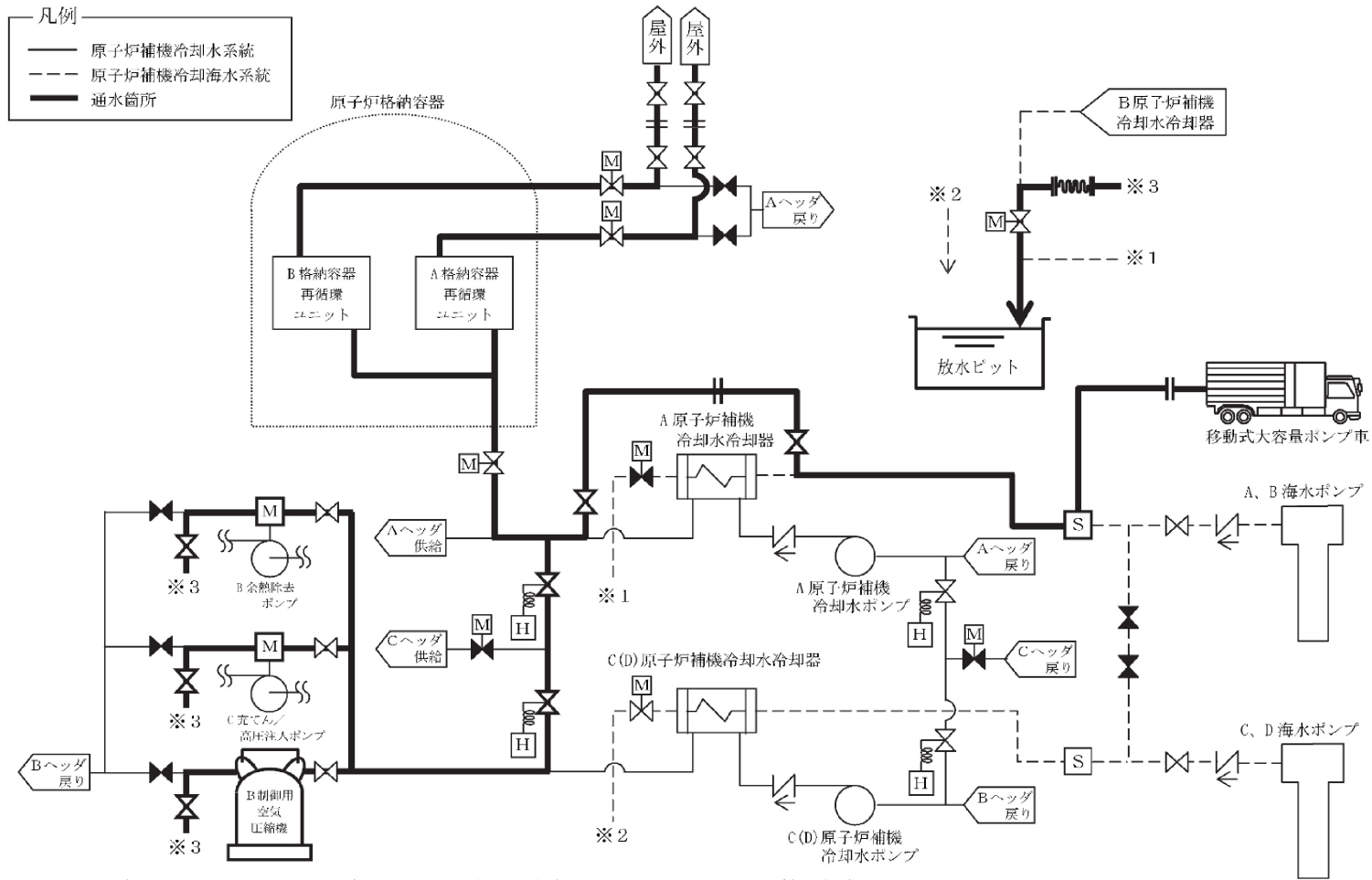


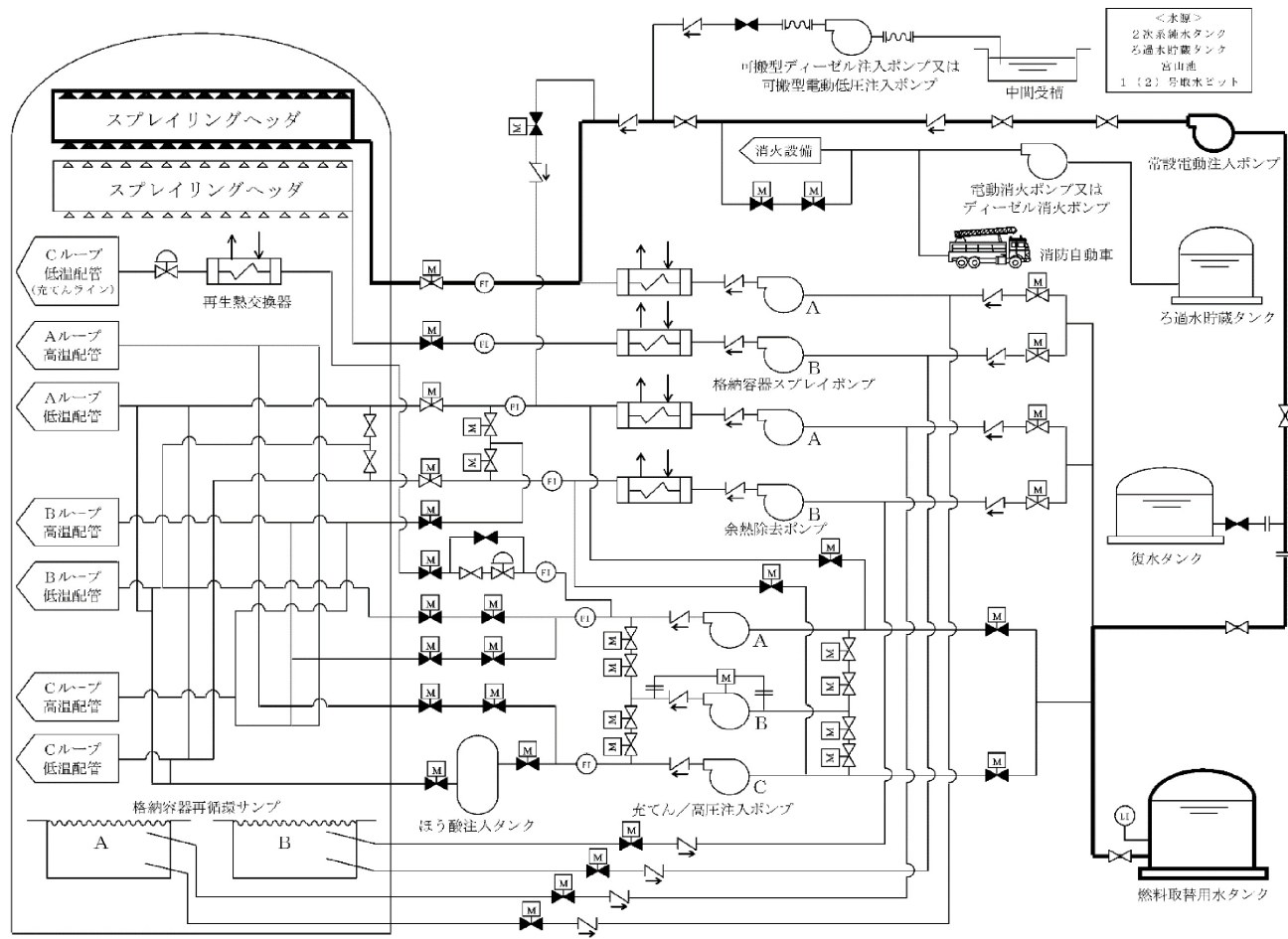
第 3.1.3.1-18 図 窒素ボンベによるアニュラス空気浄化系弁への駆動用空気の供給概略図



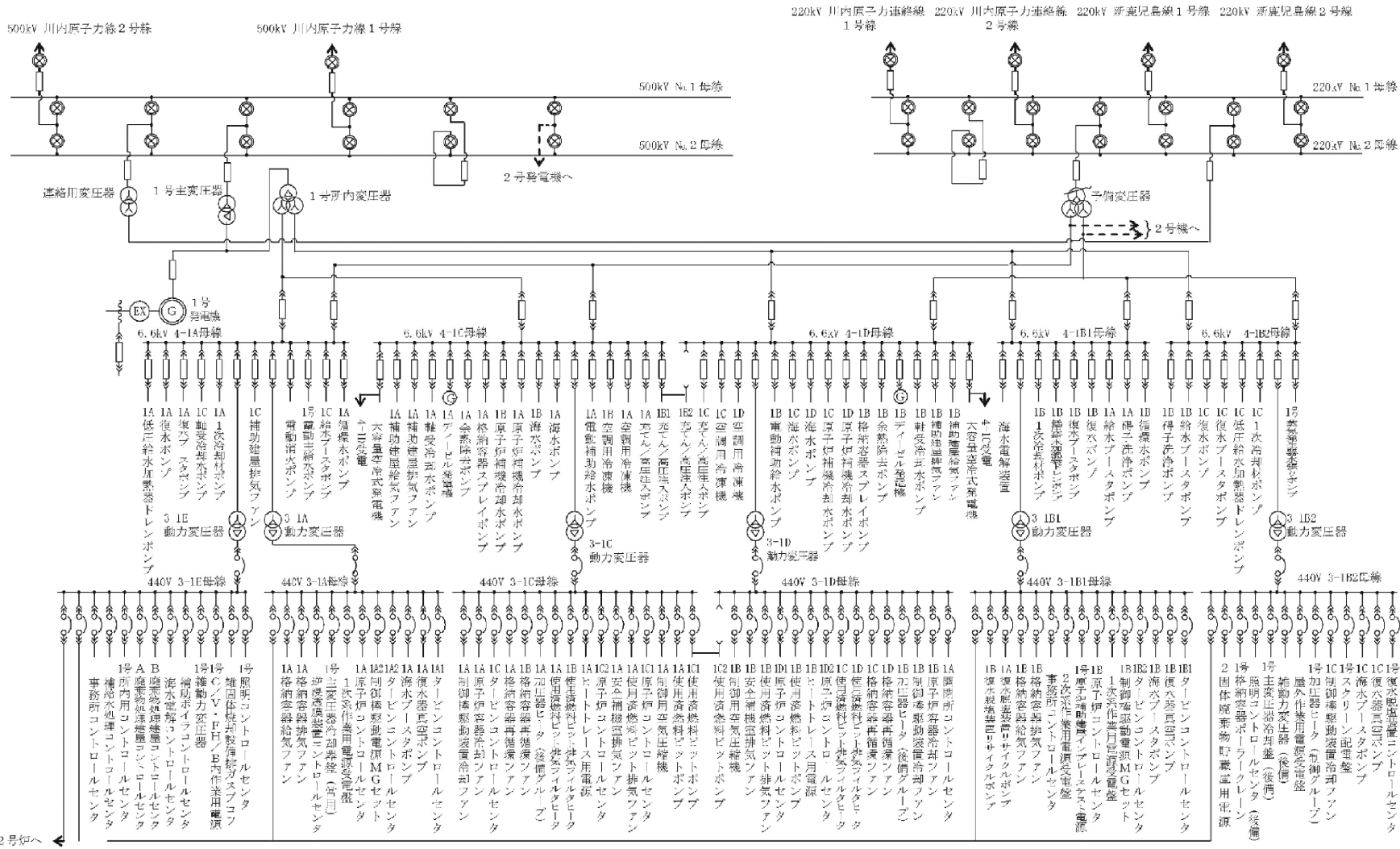
第 3.1.3.1-19 図 格納容器内自然対流冷却(原子炉補機冷却水通水時)概略図



第 3.1.3.1-20 図 格納容器内自然対流冷却(海水通水時)概略図

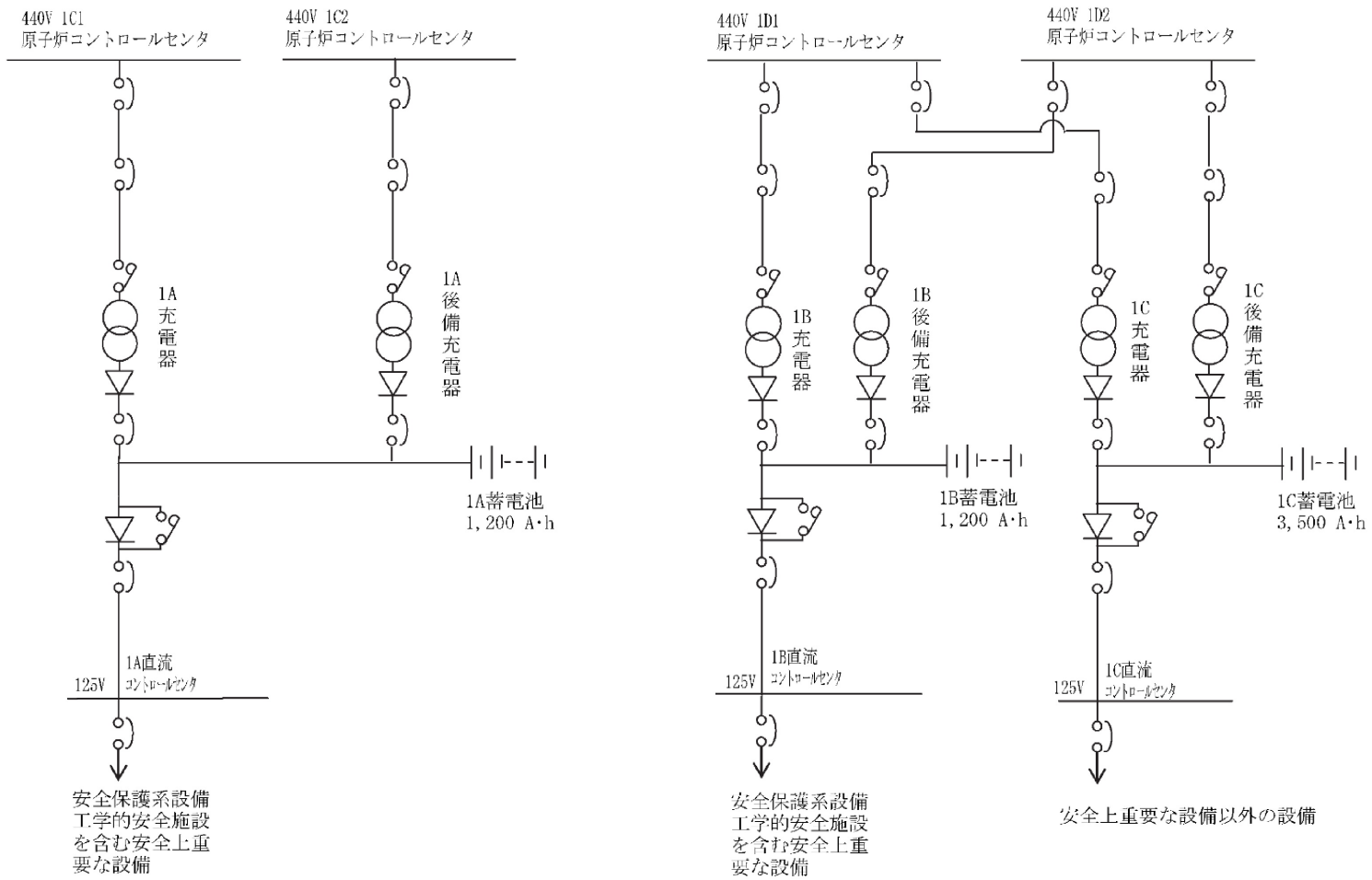


第 3.1.3.1-21 図 常設電動注入ポンプによる代替格納容器スプレイ概略図

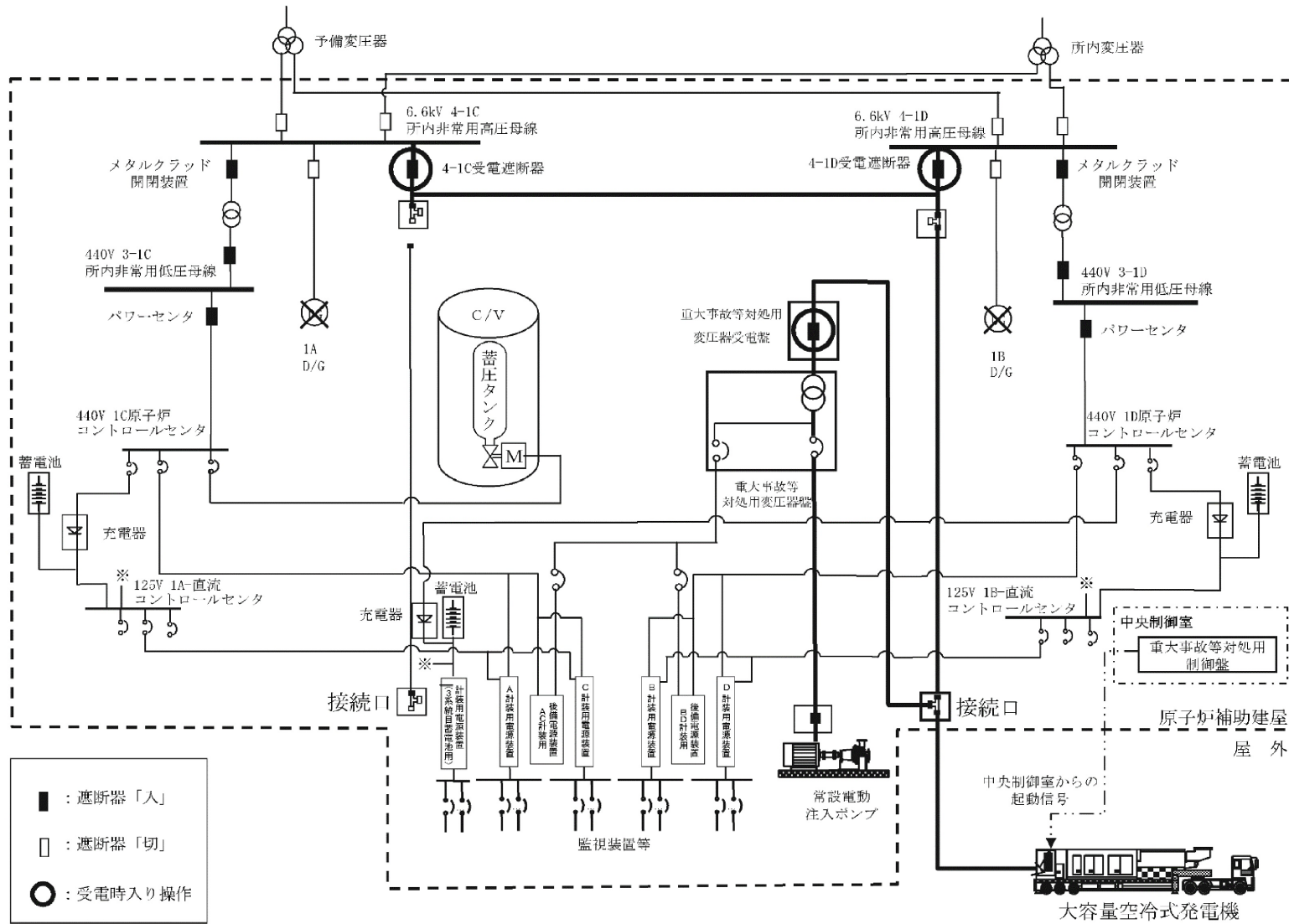


第 3.1.3.1-22 図 所内単線結線図

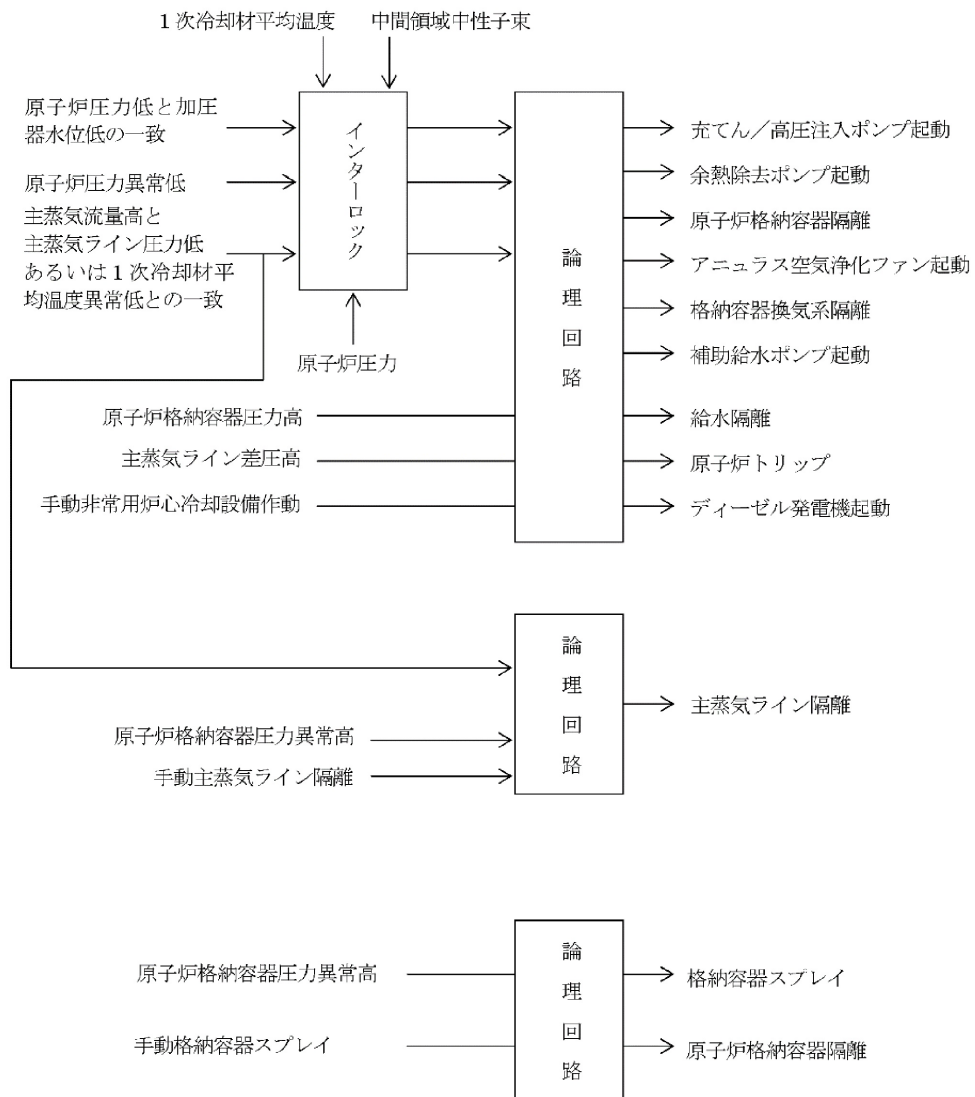
3.1.3-252



第 3.1.3.1-23 図 直流単線結線図

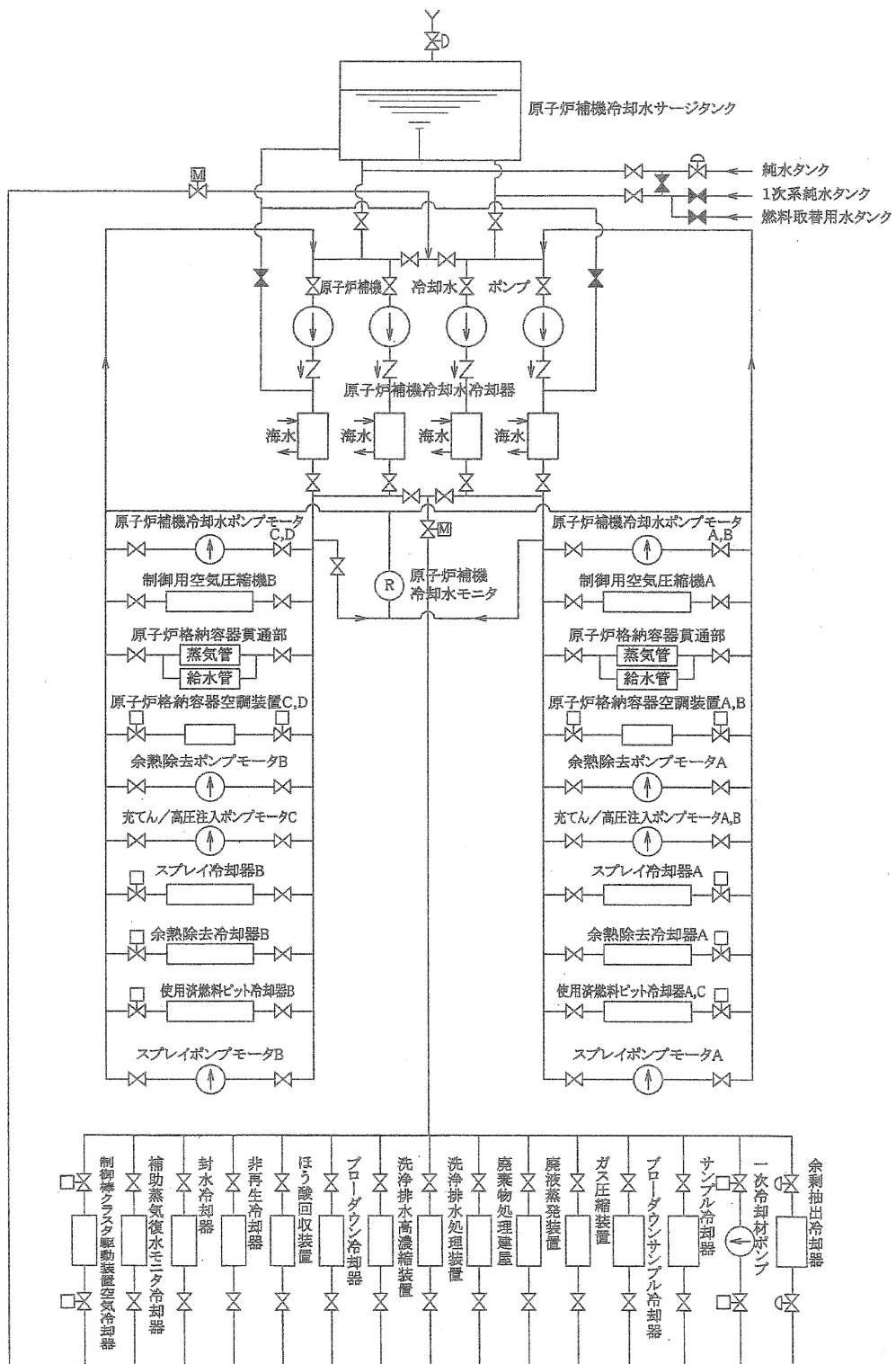


第 3.1.3.1-24 図 代替電源設備(大容量空冷式発電機)概略図



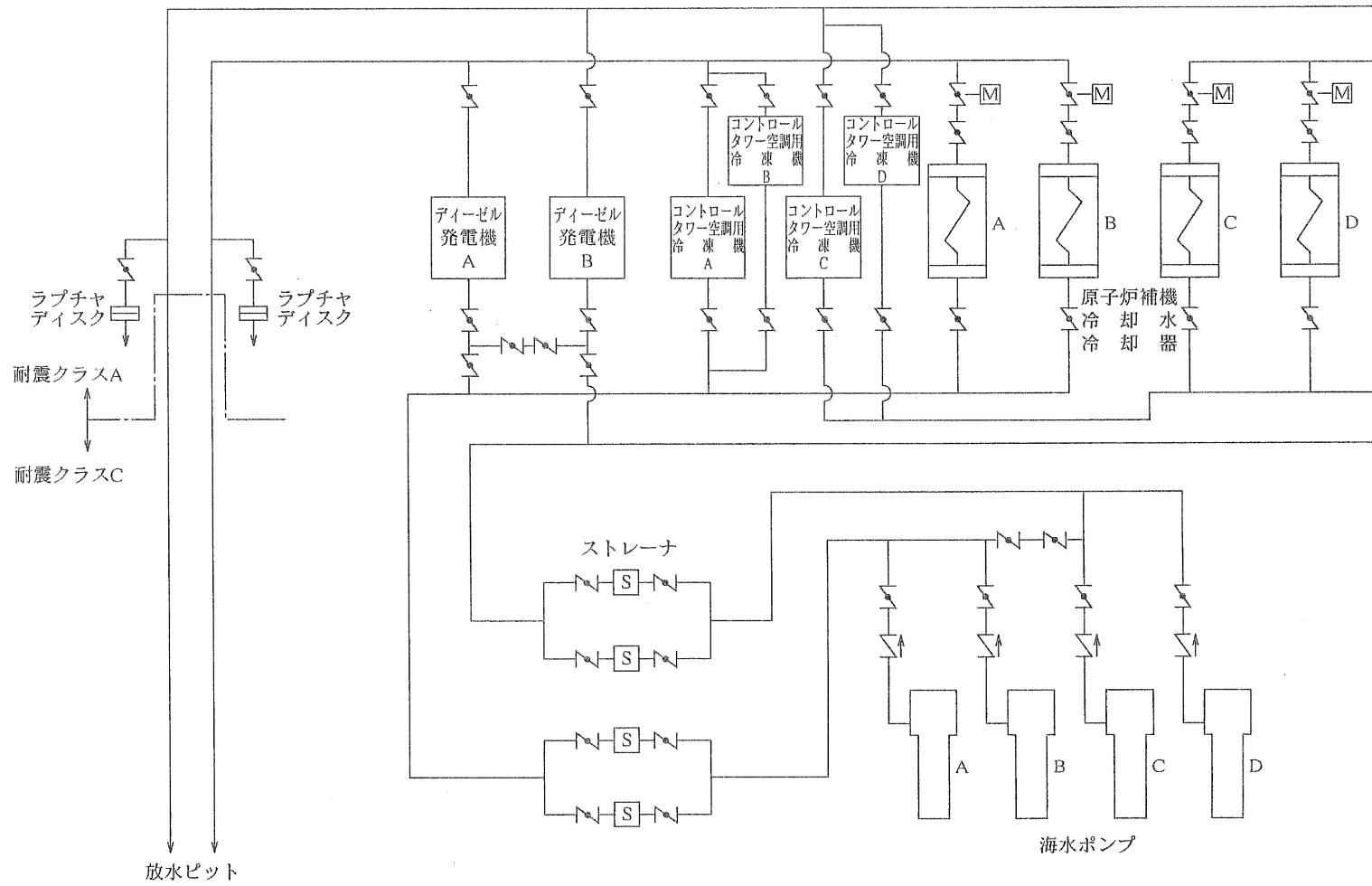
第 3.1.3.1-25 図 工学的安全施設作動概略図



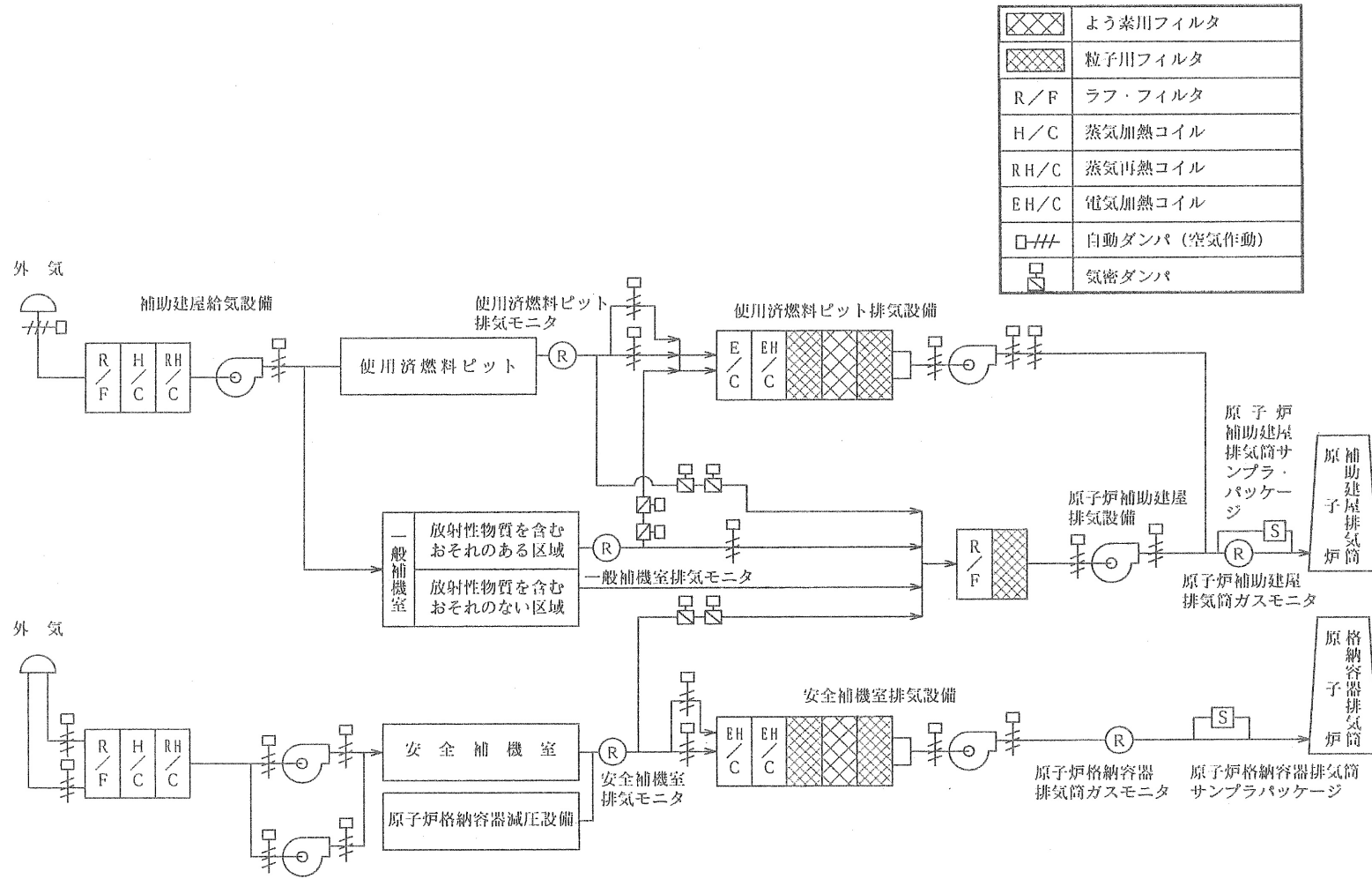


第 3.1.3.1-26 図 原子炉補機冷却水設備系統概略図

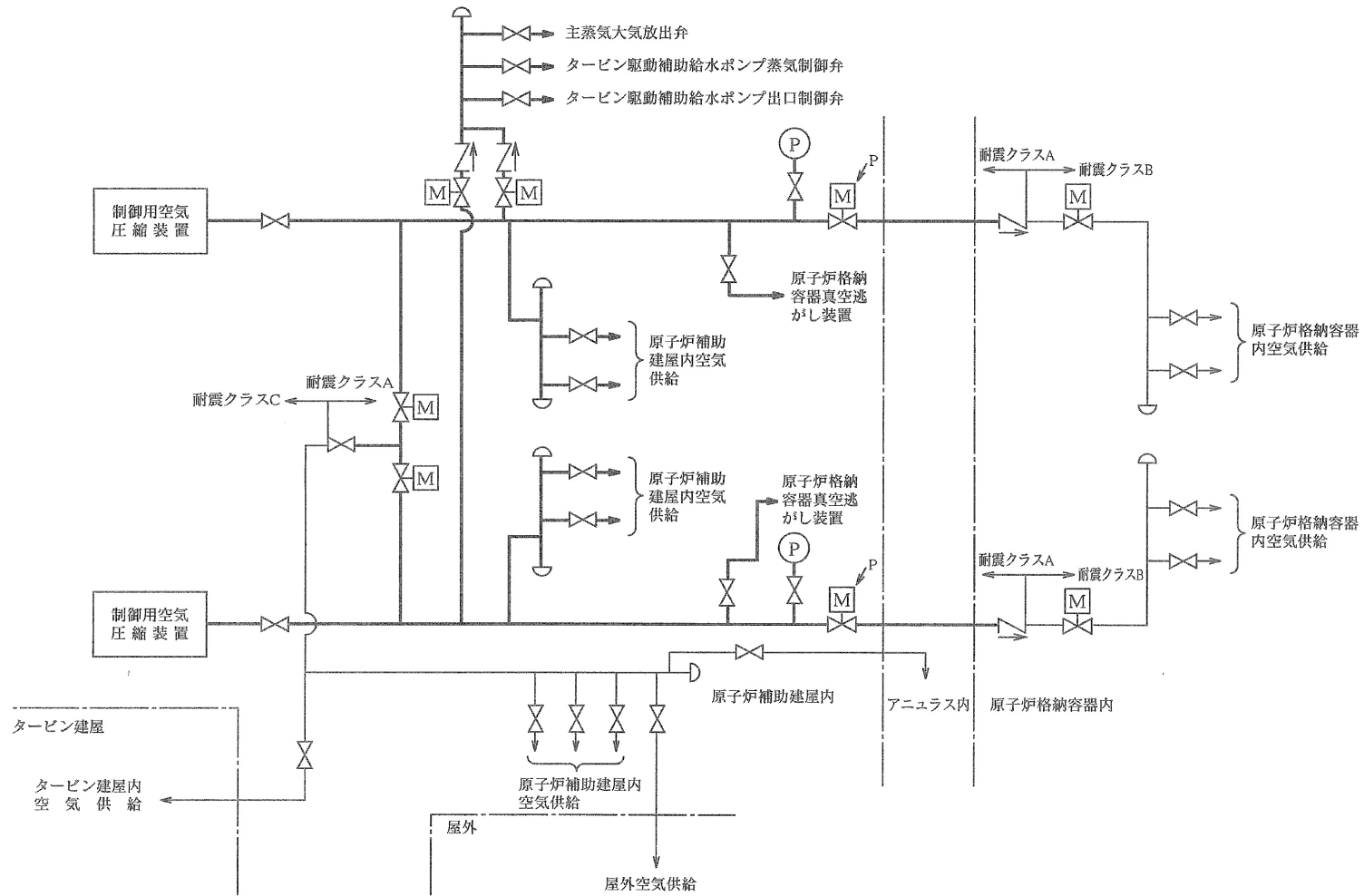
3.1.3-257



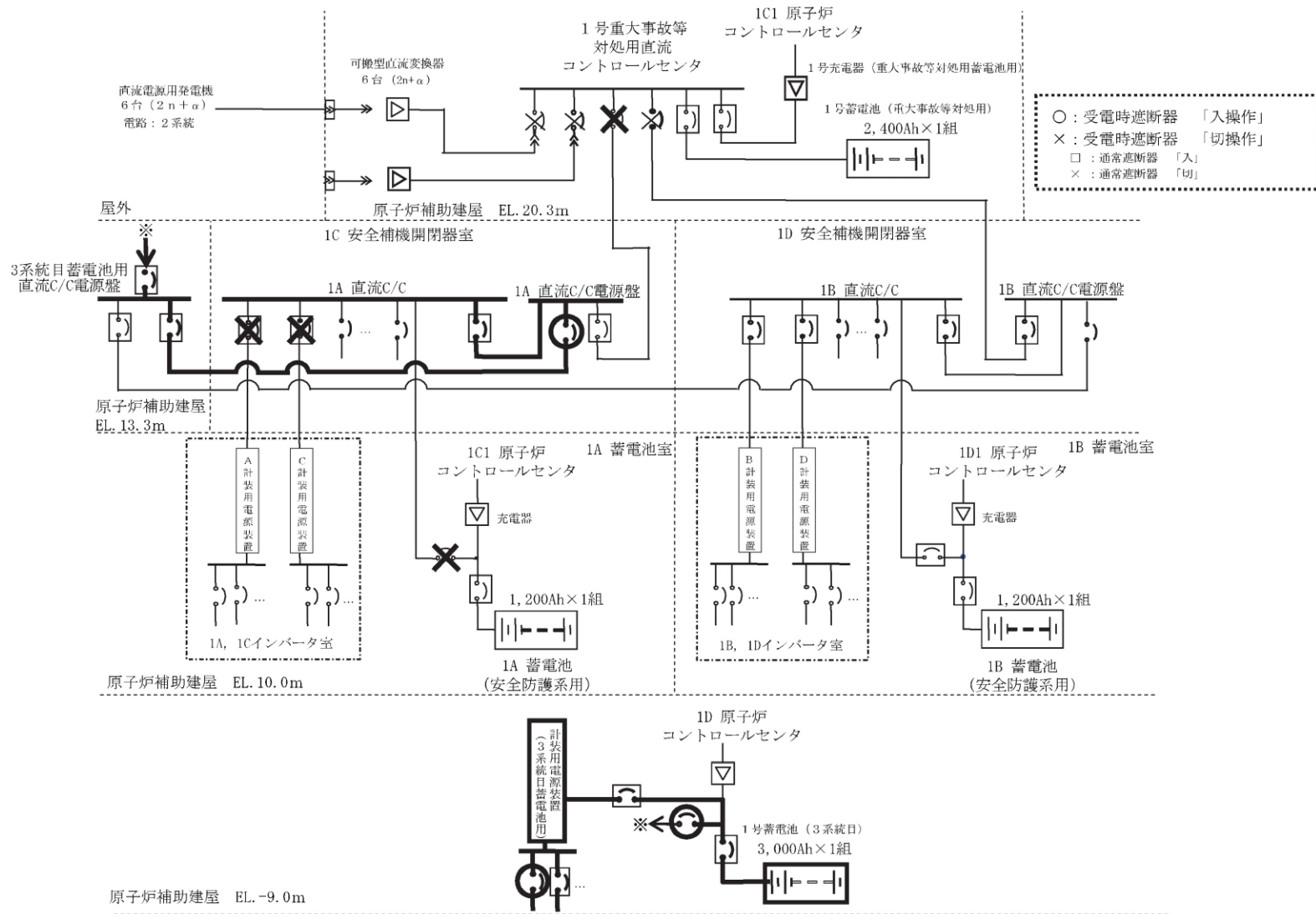
第 3.1.3.1-27 図 原子炉補機冷却海水設備系統概略図



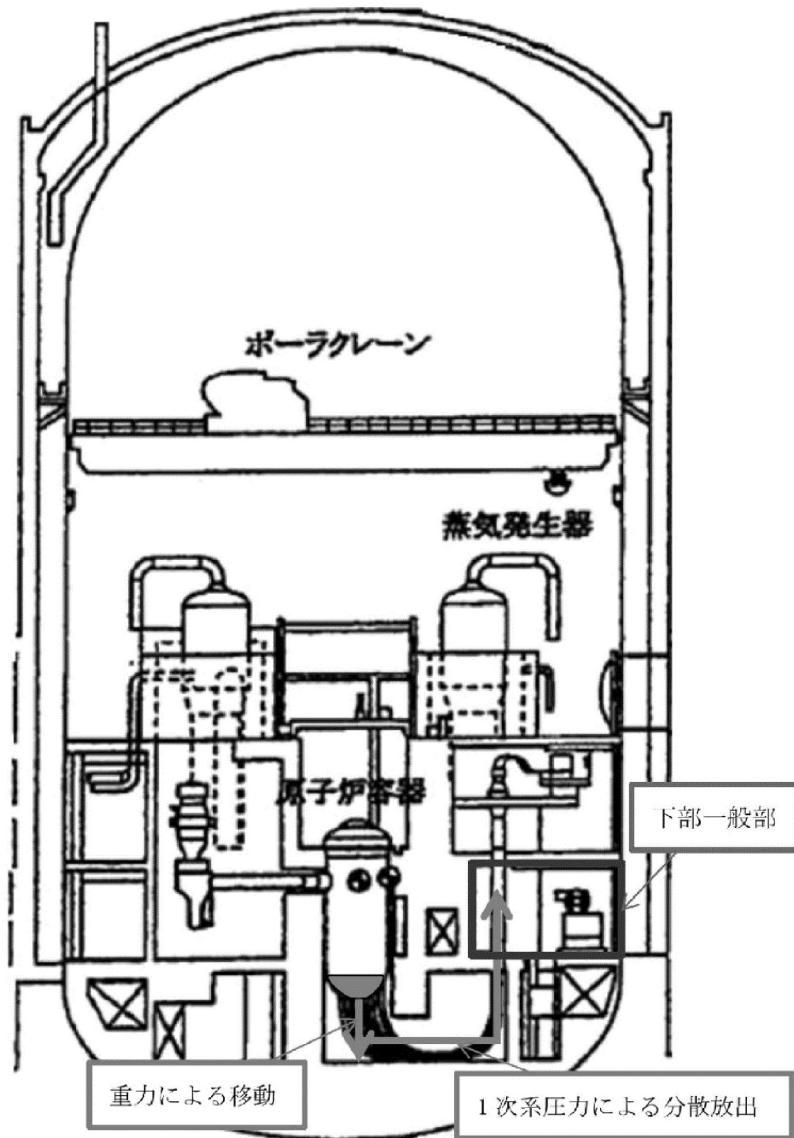
第 3.1.3.1-28 図 原子炉補助建屋換気設備系統概略図



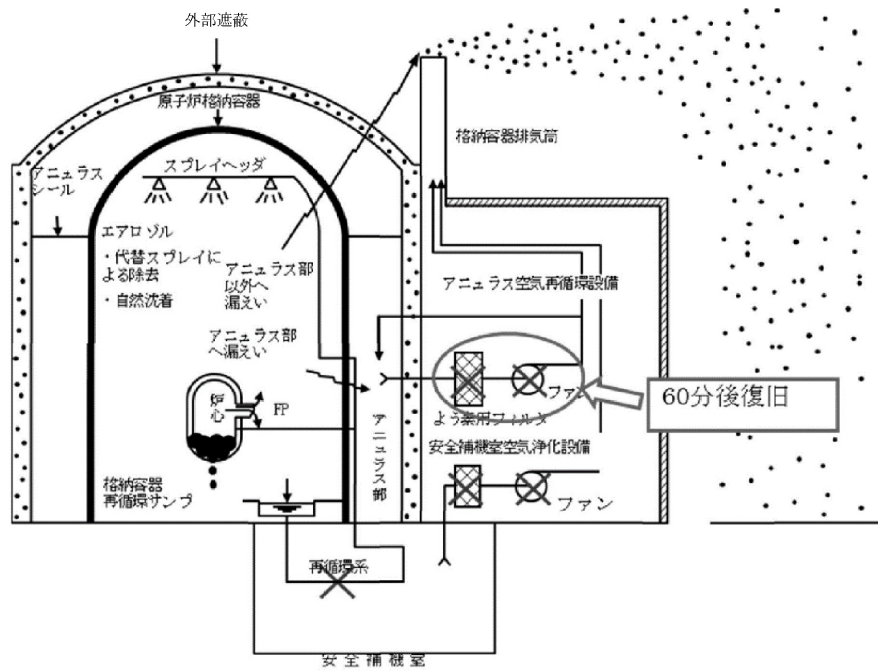
第 3.1.3.1-29 図 制御用圧縮空気設備系統概略図



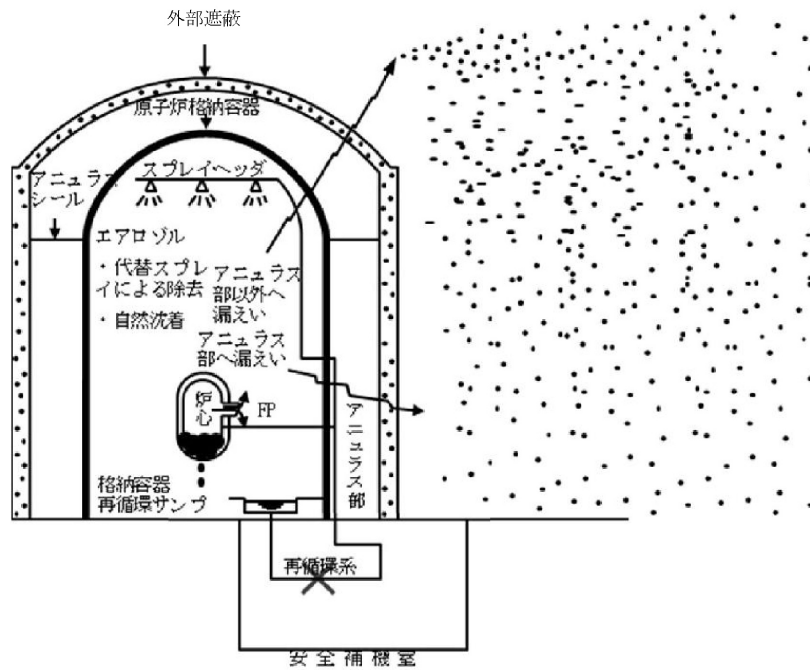
第 3.1.3.1-30 図 蓄電池(3系統目)系統概略図



第 3.1.3.1-31 図 燃料及び溶融炉心の移動経路の概念図

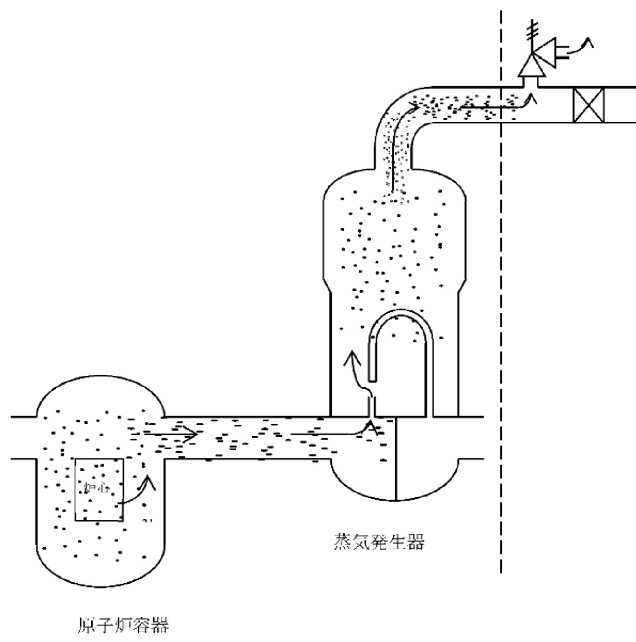


① 原子炉格納容器健全性が維持されている場合 (②を除く)

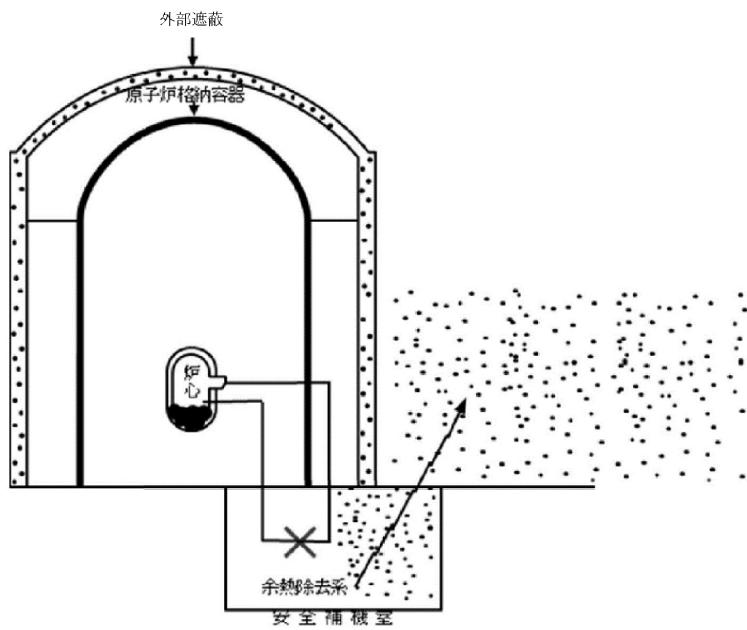


③ 格納容器機能喪失が生じた場合 (④、⑤の場合を除く)

第 3.1.3.1-32 図 放出経路の概念図 (1/2)



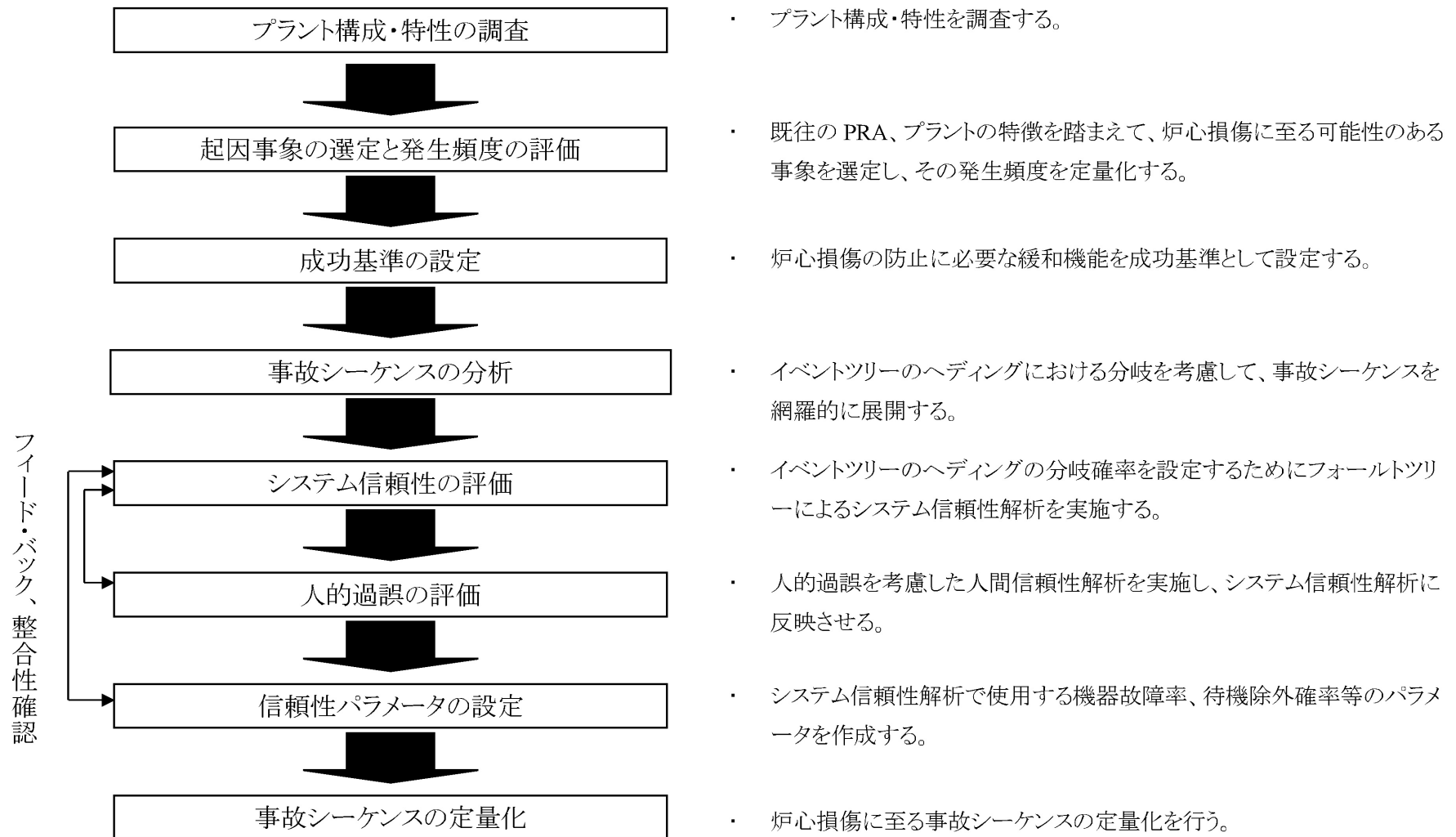
④ SGTR + 炉心損傷が生じた場合



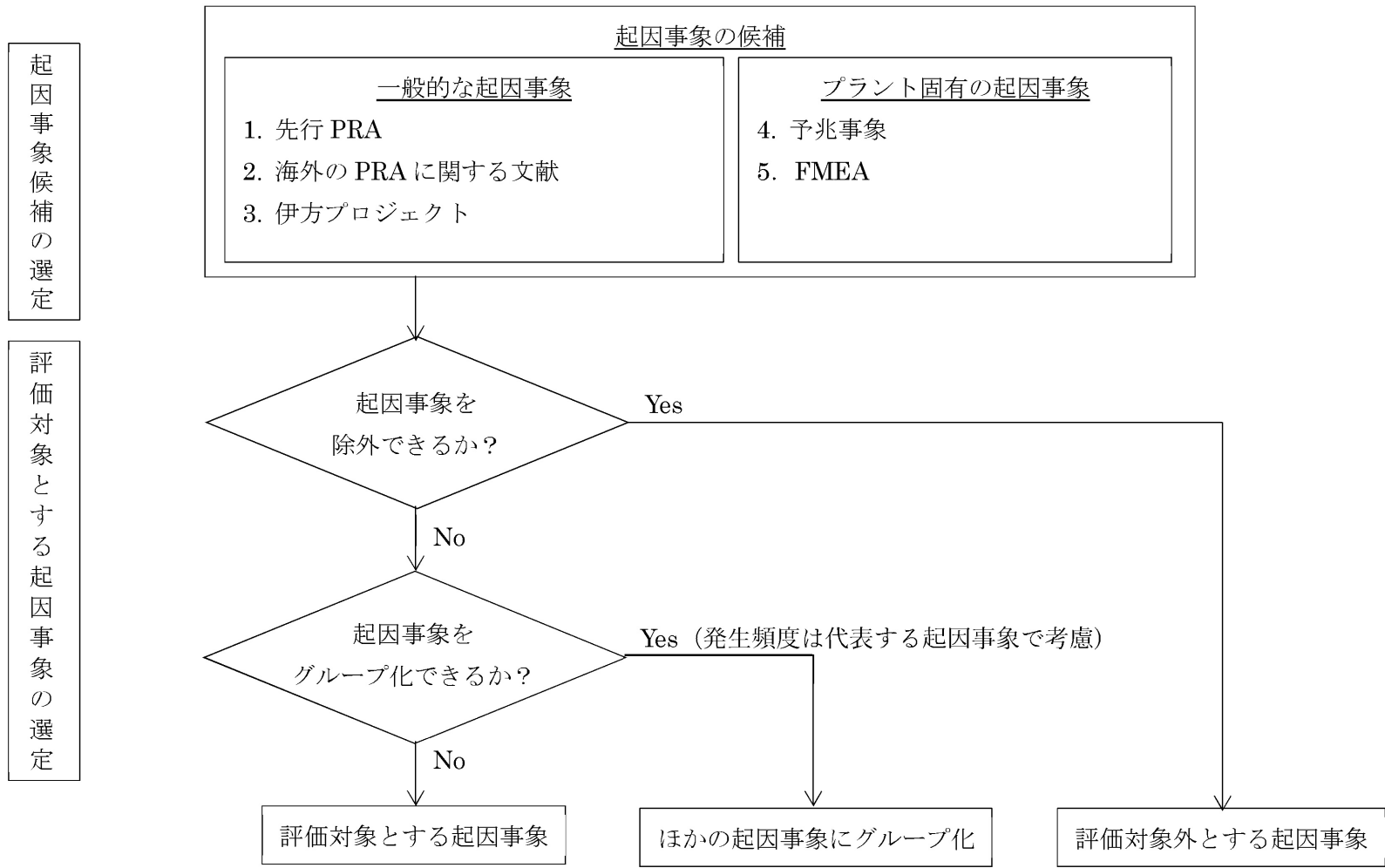
⑤ インターフェイスシステム LOCA + 炉心損傷が生じた場合

第 3.1.3.1-32 図 放出経路の概念図 (2/2)

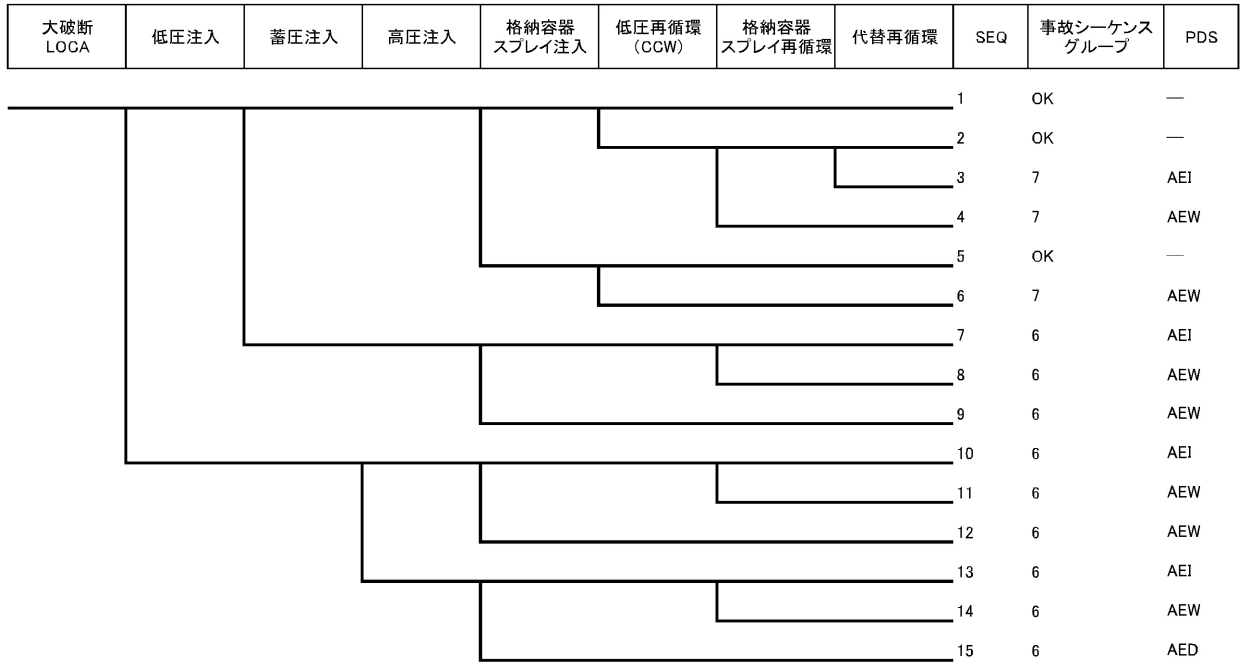




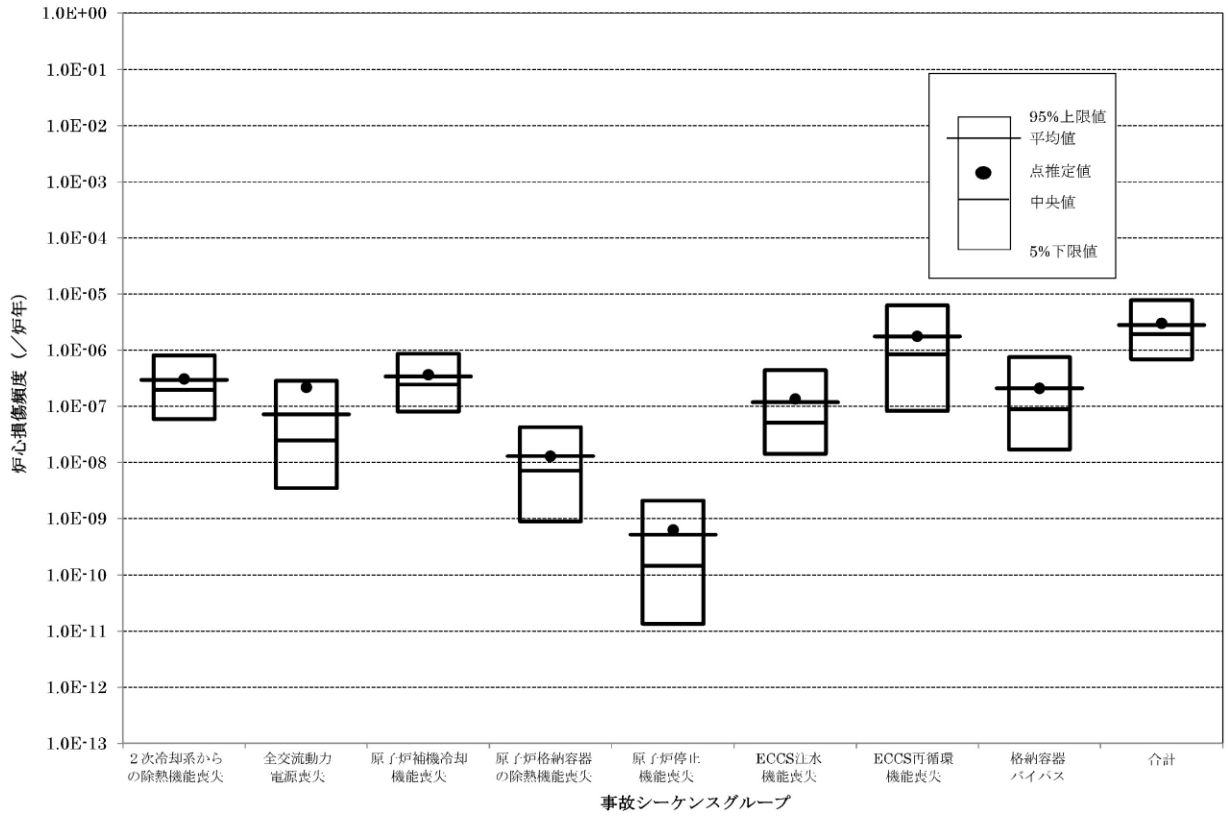
第 3.1.3.1-33 図 内部事象出力運転時レベル 1PRA の評価フロー



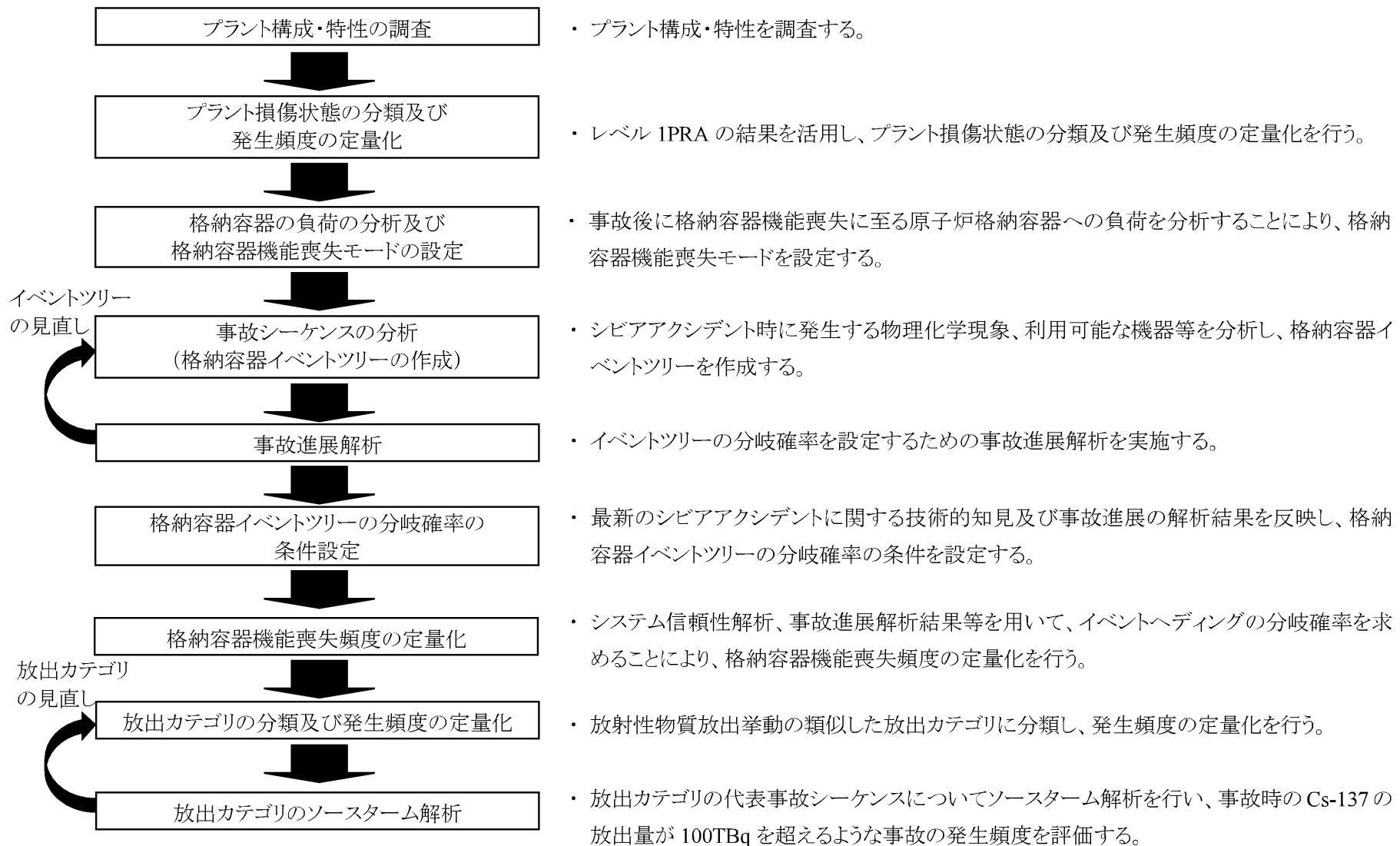
第 3.1.3.1-34 図 起件事象選定フロー



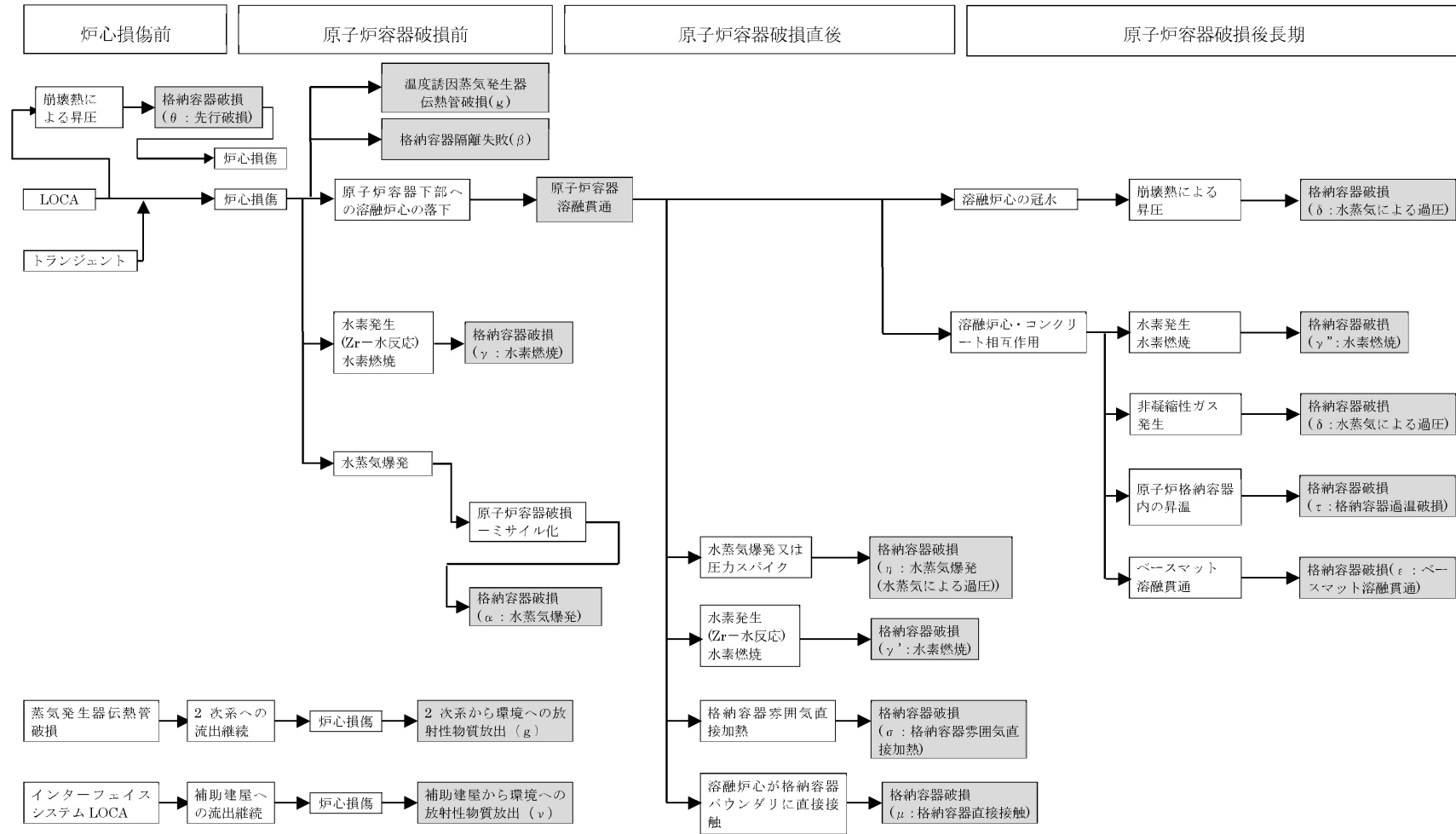
第 3.1.3.1-35 図 大破断 LOCA イベントツリー



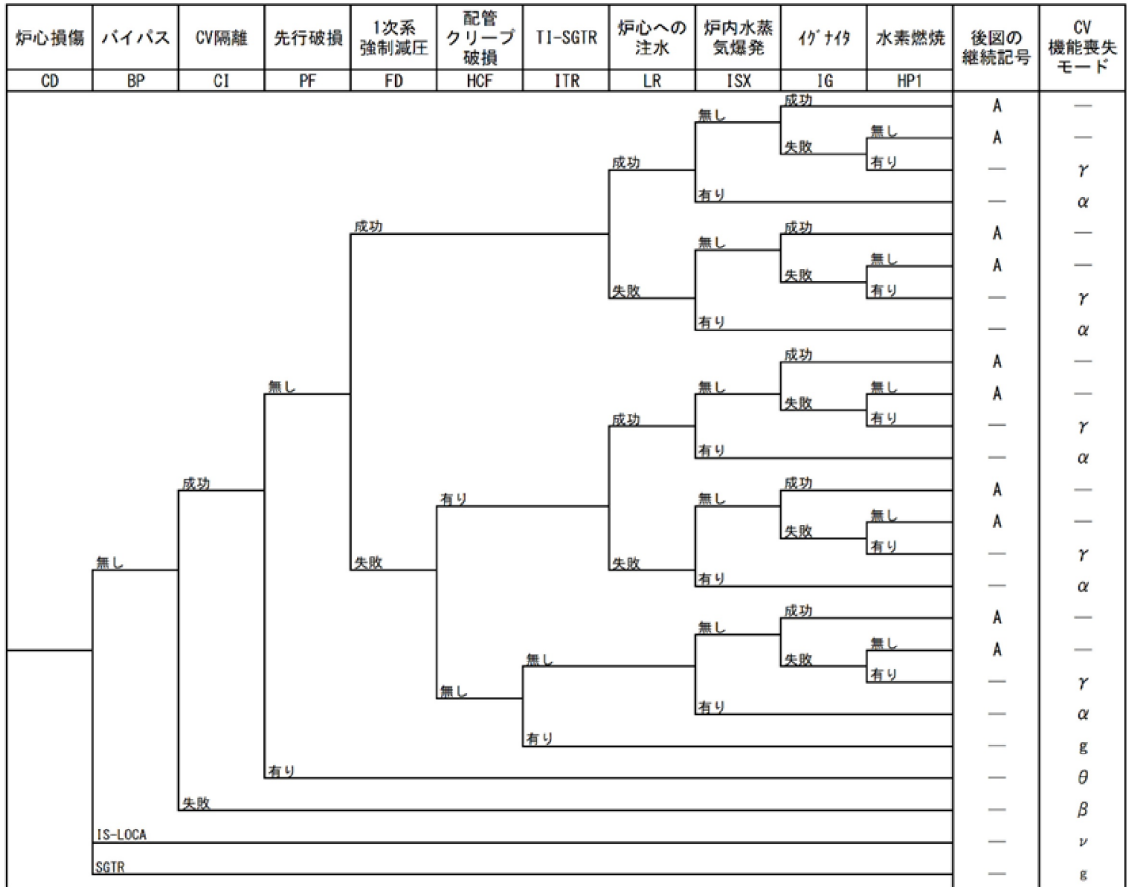
第 3.1.3.1-36 図 不確実さ解析結果



第 3.1.3.1-37 図 内部事象出力運転時レベル 2PRA の評価フロー



第 3.1.3.1-38 図 PWR のシビアアクシデントで考えられている事故進展



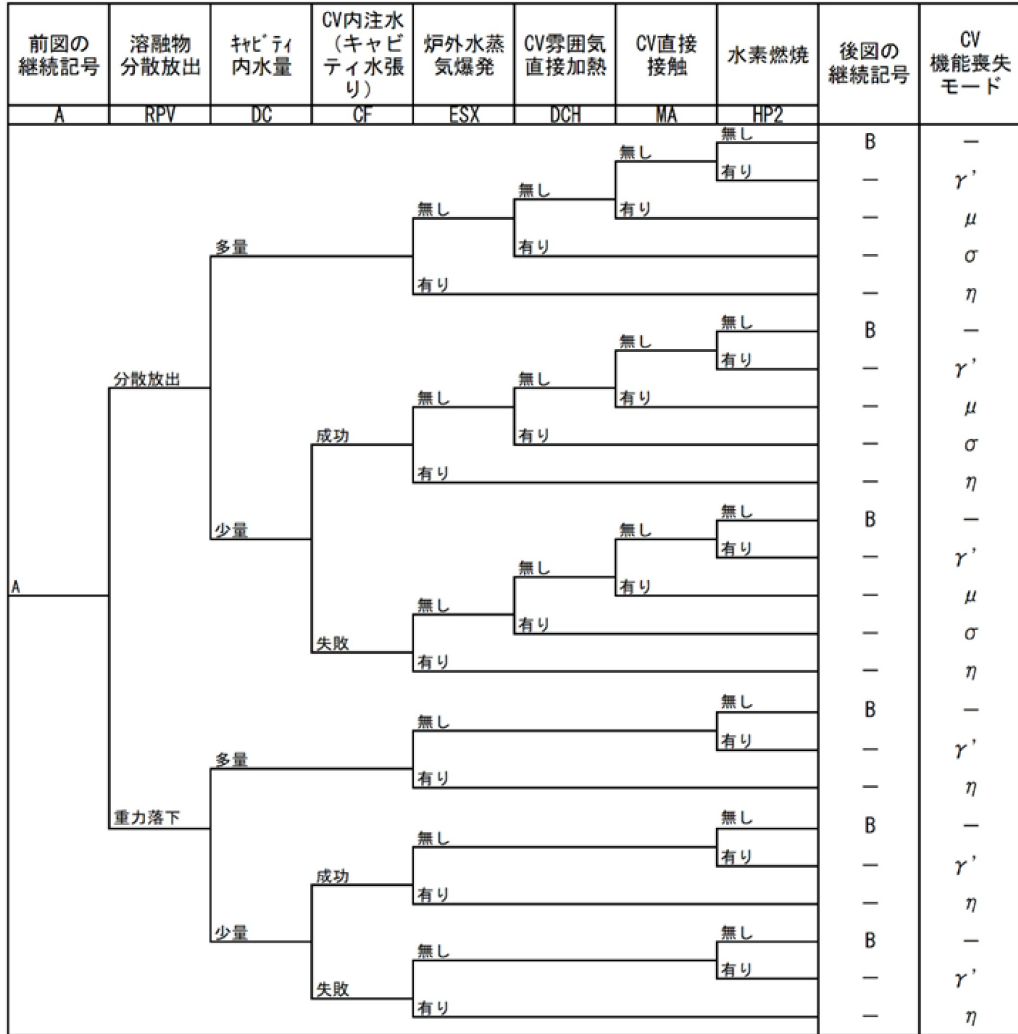
注 1) 後図の継続記号の—は、その時点での格納容器機能喪失を意味する。

注 2) 格納容器機能喪失モード：

- α = 原子炉容器内水蒸気爆発
- β = 格納容器隔離失敗
- γ = 水素燃焼(原子炉容器破損前)
- γ' = 水素燃焼(原子炉容器破損直後)
- γ” = 水素燃焼(原子炉容器破損後長期)
- δ = 水蒸気・非凝縮性ガス蓄積による過圧破損
- ε = ベースマット熔融貫通
- θ = 水蒸気蓄積による格納容器先行破損
- η = 原子炉容器外水蒸気爆発
- σ = 格納容器雰囲気直接加熱
- g = 蒸気発生器伝熱管破損
- ν = インターフェイスシステム LOCA
- μ = 格納容器直接接触
- τ = 格納容器過温破損
- φ = 格納容器健全

(a) 原子炉容器破損前

第 3.1.3.1-39 図 格納容器イベントツリー (1/3)



注 1) 後図の継続記号の-は、その時点での格納容器機能喪失を意味する。

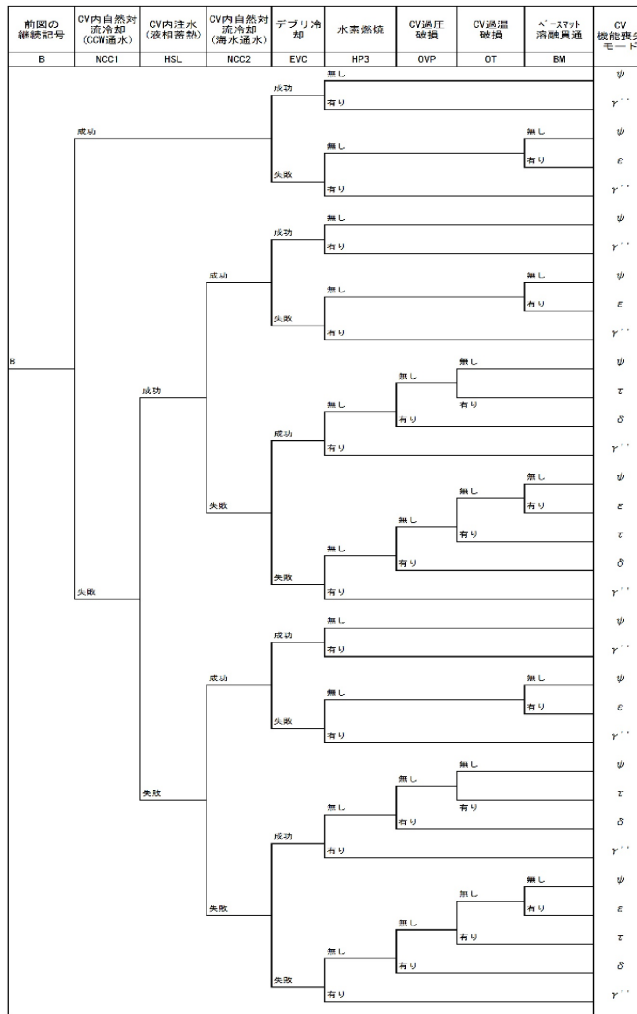
注 2) 格納容器機能喪失モード:

- α = 原子炉容器内水蒸気爆発
- β = 格納容器隔離失敗
- γ = 水素燃焼(原子炉容器破損前)
- γ' = 水素燃焼(原子炉容器破損直後)
- γ'' = 水素燃焼(原子炉容器破損後長期)
- δ = 水蒸気・非凝縮性ガス蓄積による過圧破損
- ε = ベースマツト溶融貫通
- θ = 水蒸気蓄積による格納容器先行破損
- η = 原子炉容器外水蒸気爆発
- σ = 格納容器雰囲気直接加熱
- g = 蒸気発生器伝熱管破損
- v = インターフェイスシステム LOCA
- μ = 格納容器直接接触
- τ = 格納容器過温破損
- φ = 格納容器健全

(b) 原子炉容器破損直後

第 3.1.3.1-39 図 格納容器イベントツリー (2/3)





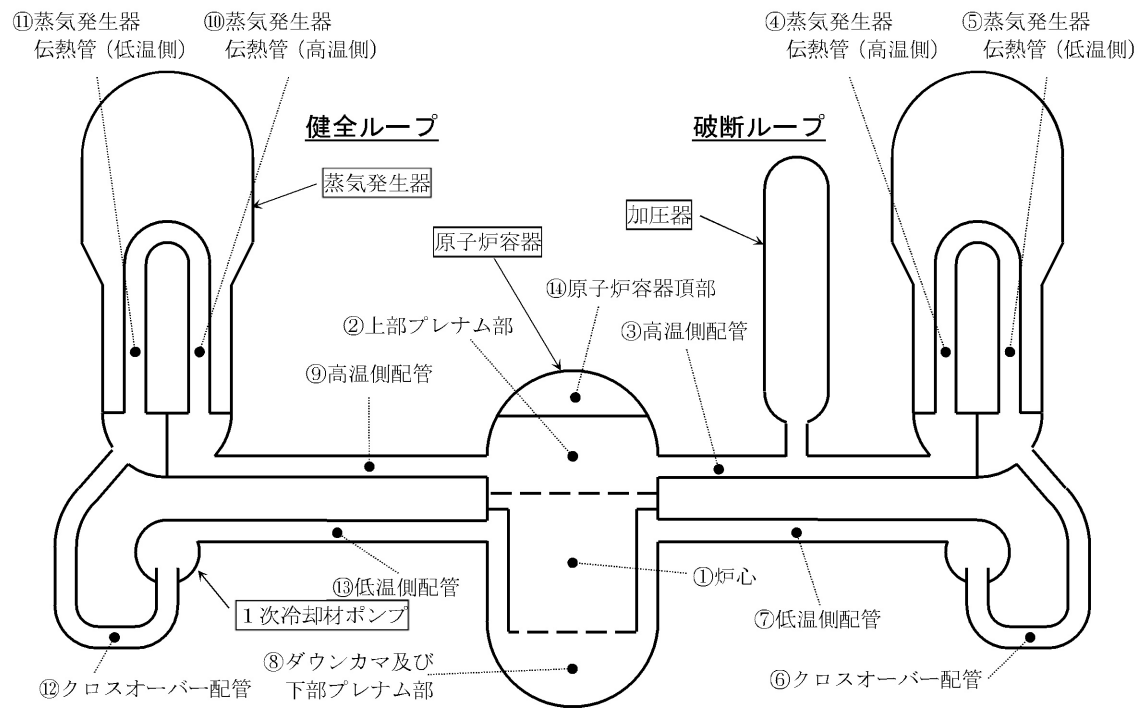
注1) 後図の継続記号のーは、その時点での格納容器機能喪失を意味する。

注2) 格納容器機能喪失モード：

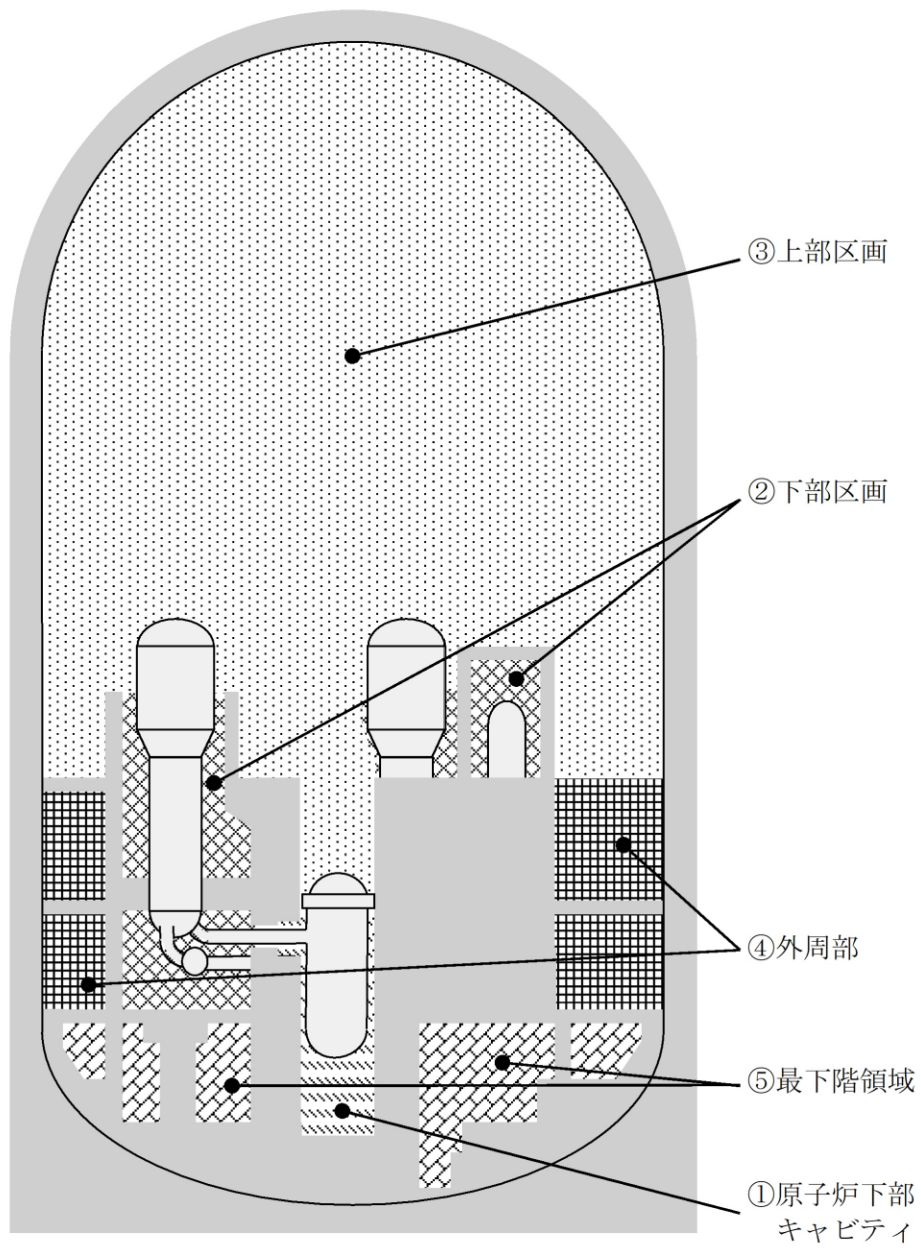
- α = 原子炉容器内水蒸気爆発
- β = 格納容器隔離失敗
- γ = 水素燃焼(原子炉容器破損前)
- γ' = 水素燃焼(原子炉容器破損直後)
- γ'' = 水素燃焼(原子炉容器破損後長期)
- δ = 水蒸気・非凝縮性ガス蓄積による過圧破損
- ε = ベースマツト熔融貫通
- θ = 水蒸気蓄積による格納容器先行破損
- η = 原子炉容器外水蒸気爆発
- σ = 格納容器雰囲気直接加熱
- g = 蒸気発生器伝熱管破損
- v = インターフェイスシステム LOCA
- μ = 格納容器直接接触
- τ = 格納容器過温破損
- φ = 格納容器健全

(c) 原子炉容器破損後長期

第 3.1.3.1-39 図 格納容器イベントツリー (3/3)



第 3.1.3.1-40 図 1 次系ノーディング



第 3.1.3.1-41 図 原子炉格納容器ノーディング

